



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

看護教育研究学会

2018 年夏季研修会

日時：8月5日(日)

会場：東京通信病院管理棟(東京都千代田区)

講師：佐藤みつ子(山梨大学名誉教授)

テーマ：看護学の質の向上をめざして—看護職としての私のキャリア・デザイナー—キャリアプランのために
内容：講義／グループワーク／発表／まとめ

参加費：会員は無料，非会員 3000 円

第 12 回看護教育研究学会学術集会

テーマ：変革の時代における看護教育—思いやりの心を表現する「看護倫理」

日時：10月20日(土)

会場：日本大学文理学部百周年記念館(東京都世田谷区)

内容：学術集会長講演 角智美(茨城県立中央病院看護教育支援室)／シンポジウム「倫理の問題事例と倫理的行動」(高齢者看護の立場から) 田中和子，(終末期看護の立場から) 風間郁子，(精神看護の立場から) 佐藤りか／一般演題／ポスター演題発表

参加費：一般(事前申し込み)5000 円，(当日)5500 円，学生 1000 円(学生証提示)

【以下，共通】

✉ info@nihonkango.jp

URL www.nihonkango.jp/index.html

全国訪問看護事業協会

入院前から始まる退院支援研修会

テーマ：医療機関と地域をつなぐ

日時：8月31日(金)～9月1日(土)

会場：CIVI 日本橋会議室(東京都中央区)

プログラム：

[1 日目]

「退院支援とは—ケアマネジメントと退院支援院内チームと地域連携システムづくり・退院支援看護師の役割と機能」篠田道子(日本福祉大学社会福祉学科教授)／「退院支援が求められる背景—政策の動向・在宅医療・訪問看護の概要と活用方法」山田雅子(聖路加国際大学教授)／「訪問看護と退院支援」服部絵美(白十字訪問看護ステーション管理者)

[2 日目]

「在宅・病院ともに取り組む在宅療養支援—地域包括ケア時代に求められる継続看護」宇都宮宏子(在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス)／グループワーク「自施設の在宅療養移行支援・在宅療養支援—現状と目指す姿を共有しよう」山田雅子

対象：訪問看護に従事する看護師等，病院・施設等の職員

参加費：会員 1 万 5000 円，非会員 3 万円

定員：約 150 名

申し込み方法：下記 URL 申し込みフォームから。あるいは参加申込書に必要事項を記入の上，FAX で送信
問い合わせ：全国訪問看護事業協会事務局

☎ 03-3351-5898

FAX 03-3351-5938

URL www.zenhokan.or.jp/

日本訪問看護財団研修

精神障がい者の在宅看護セミナー (3 日間研修)

※精神科訪問看護基本療養費の届出要件を満たす研修

日時：8月31日(金)～9月2日(日)

会場：松山市男女共同参画推進センターコムズ(愛媛県松山市)

ねらい：地域で暮らす精神障がい者と信頼関係を築き，医療の継続支援

や病状悪化の早期対応などを含め，精神科訪問看護の知識・技術を習得する

内容：精神保健福祉の現状と動向／精神科訪問看護の動向と報酬・制度活用／精神障がい者を介護する家族支援について／精神障がい者及び家族を地域で支えるための社会資源と制度の活用／精神疾患と治療について／精神科訪問看護の基礎／日常生活の援助／精神障がい者及び介護者家族への医療継続支援について／精神障がい者及び介護者家族への対人関係の援助／精神科訪問看護の実践(3 日間全講義受講者には修了証を発行)

講師：柿澤満絵(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課地域行政支援専門)，萱間真美(聖路加国際大学大学院精神看護学教授)，谷向知(愛媛大学大学院老年精神地域包括ケア学教授)，林紀江(訪問看護ステーションみさわ所長)，鈴木孝典(高知県立大学社会福祉学部准教授)／富川順子(大阪府立大学大学院看護学研究科准教授)，佐藤美穂子(日本訪問看護財団常務理事)

対象：保健師，看護師，准看護師，作業療法士

受講料：会員 2 万円，非会員 4 万円

申し込み方法：下記 URL から

問い合わせ：日本訪問看護財団研修担当

☎ 03-5778-7005

✉ info-kensyu@jvnf.or.jp

URL www.jvnf.or.jp/kyouiku/kensyu.html

日本訪問看護財団研修

小児訪問看護の実践力向上のための研修 2018(3 日間研修)

日時：9月7日(金)～9日(日)

会場：ラマダホテル新潟(新潟市中央区)

ねらい：小児入院患者の在宅移行の促進と，地域での生活を支援するために，小児及びその家族の支援に必

要な知識・技術を習得し、保健・医療・福祉・教育等の社会資源が活用できる

内容：障害保健福祉施策の動向と制度活用／小児と家族への退院支援／小児の発達・成長／各ライフステージに応じた小児と家族支援／小児訪問看護の実際／小児在宅医療の現状／小児の呼吸管理／小児のフィジカルアセスメント／小児在宅医療の人工呼吸器について・演習／小児救命処置・演習(シミュレータ使用)／気管カニューレ管理・経鼻栄養管理・吸引等の演習(シミュレータ使用)／修了者報告会

講師：大西延英(元厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室室長補佐)、石渡久子(子ども在宅クリニックおおぞら診療所墨田)、豊田ゆかり(愛媛県立医療技術大学母性・小児看護学教授)、岡田たまえ(東京都立大塚病院 GCU 病棟看護師長)、内田貴之(杏林大学医学部付属病院医療安全推進室専任リスクマネージャー)、松井晃(愛育病院臨床工学科臨床工技士長)、田中道子(あすか山訪問看護ステーション所長)、田中由美(同訪問看護師)、新村恵子(同訪問看護師)

対象：小児訪問看護に従事する保健師・助産師・看護師・准看護師

受講料：一律 2 万円

集中セミナー

日時：11 月 10 日(土)

会場：ベルサール新宿グラウンド(東京都新宿区)

プログラム：①～③同時開催。いずれか 1 つを選択

「①「在宅療養支援のための臨床推論」(認定看護師のフォローアップセミナー)」

※認定資格更新セミナー

ねらい：在宅療養者のアセスメントに臨床推論を用いて、状態悪化防止、異常の早期発見等につなげるための知識を学ぶ

内容：在宅療養者におこりやすい症状と臨床推論／事例をもとに臨床推

論の実際を学ぶ。

講師：徳田安春(群星沖縄臨床研修センター長)／島田珠美(川崎大師訪問看護ステーション統括所長)

対象：認定看護師(全 21 分野)および訪問看護に従事する看護職員など
「②非がん療養者のエンドオブライフケア」

ねらい：非がん療養者のエンドオブライフケアの特徴を理解する／エンドオブライフケアにおける倫理的問題について理解し、看護倫理に基づくケアの実践について学ぶ

内容：非がん療養者のエンドオブライフケア総論／非がん疾患の予後予測と意思決定支援／コミュニケーションと意思決定における看護師の役割

講師：平原佐斗司(東京ふれあい医療生活協同組合オレンジほっとクリニック院長)、千葉恵子(亀田総合病院緩和ケア専従)

対象：訪問看護に従事する看護職員など

「③看護職起業家交流セミナー」

ねらい：平成 30 年度報酬改定後の訪問看護ステーション経営の展開・安定経営を目指すための方策を学ぶ

内容：訪問看護関連の最新情報／小規模・大規模訪問看護ステーションの経営戦略／意見交換

講師：交渉中

対象：訪問看護ステーションの経営関係者・訪問看護ステーションの起業をめざす人など

受講料：会員 6000 円、非会員 1 万円

申し込み開始：8 月 1 日(水)

申し込み方法：下記 URL 申し込みフォームから

問い合わせ：日本訪問看護財団研修担当

☎ 03-5778-7005

✉ info-kensyu@jvnf.or.jp

URL www.jvnf.or.jp/kyouiku/kensyu.html

大分県立看護科学大学 創立 20 周年記念第 20 回 看護国際フォーラム

テーマ：看護におけるリーダーシップ

日時：9 月 15 日(土)

会場：別府ビーコンプラザ(大分県別府市)

プログラム：「社会に新風を吹きこむ看護のリーダーシップ：大分県立看護科学大学の活動から」村嶋幸代(大分県立看護科学大学理事長)／「脳卒中後の感情障害：根拠に基づく看護研究」スミ・チョイ・クオン(ソウル国立大学校成人看護学教授)／「看護におけるリーダーシップの進路：効果的なメンタリング関係を通じた臨床学の発展」ジェイムセッタ・A・ニューランド(ニューヨーク大学校看護大学臨床教授)／総合討論 藤内美保(大分県立看護科学大学看護アセスメント学教授)、竹中愛子(大分県看護協会会長)

参加費：一般 2000 円、学生 500 円(資料代含)

※同時通訳用レシーバ別途 1000 円

定員：350 名

申し込み方法：下記 URL 参加登録フォームから必要事項を入力

申し込み締め切り：8 月 17 日(金)
(定員次第締め切り)

問い合わせ：大分県立看護科学大学看護国際フォーラム事務局

〒870-1201 大分県市宇廻栖野 2944-9

✉ forum2018@oita-nhs.ac.jp

URL www.oita-nhs.ac.jp

第 28 回日本保健科学学会

日時：10 月 6 日(土)

会場：首都大学東京荒川キャンパス(東京都荒川区)

テーマ：専門職のキャリアアップ

プログラム：シンポジウム／学会賞受賞講演／教育講演(共催：健康福祉学部看護学科)／一般演題／交流集会／都民公開講座

参加費：会員 3000 円，非会員 4000 円，学部生・専門学校生(学生証提示)無料

※筆頭演者は会員 3000 円，非会員(当日会員扱い)5000 円

問い合わせ：首都大学東京健康福祉学部看護学科内 実行委員会
〒116-8551 東京都荒川区東尾久 7-2-10

☎ 03-3819-1211(代)

✉ th28nhs@tmu.ac.jp

URL www.health-sciences.jp/meeting/

第 14 回 日本乳がん看護研究会

テーマ：乳がん患者の地域連携を考える—今、求められていること

日時：10 月 6 日(土)

会場：KFC ホール(東京都墨田区)

プログラム：教育講演 1「地域で取り組む緩和ケア—がんになっても安心して暮らせる街をめざして」星野彰(岩手県立中部病院地域医療科長)／教育講演 2「その人らしい暮らしを支える」平原優美(あすか山訪問看護ステーション)／指定演題「地域連携・在宅療養支援」／ケースカンファレンス 1「周産期・育児期の乳がん患者への看護支援」／2「在宅で過ごす終末期乳がん患者への支援」／ミニセミナー

参加費(事前参加登録)：会員 4000 円，非会員 5000 円(9 月 15 日まで)

参加費(当日参加登録)：会員 5000 円，非会員 6000 円

定員：300 名

参加登録方法：下記 URL 参照

問い合わせ：千葉大学大学院看護学研究科成人看護学領域内 事務局
〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

✉ info@jabcn.jp

URL www.jabcn.jp

第 15 回日本周産期 メンタルヘルス学会 学術集会

テーマ：いま，あらためて「寄り添う」を考える

日時：10 月 27 日(土)～28 日(日)

会場：神戸女子大学ポートアイランドキャンパス(神戸市中央区)

プログラム：

[10 月 27 日]

会長講演『『寄り添う』ということ』玉木敦子(神戸女子大学看護学部教授)／シンポジウム 1「妊娠婦や家族の思い：周産期メンタルヘルスに求められているもの」／基調講演「日本周産期メンタルヘルス学会の 15 年をふりかえって」岡野禎治(日本周産期メンタルヘルス学会理事長)／シンポジウム 2「妊娠婦のこころを支える：さまざまな場と専門職の役割」

[10 月 28 日]

シンポジウム 3「今あらためて注目したい：明日の周産期メンタルヘルス治療のために」／特別講演「妊娠婦の自殺の実態とメンタルヘルスの重要性」竹田省(順天堂大学医学部産婦人科特任教授)／ポスターセッション／特別企画「流産・死産を経験した女性と家族の体験，ピアサポート」

参加費：会員 5000 円，非会員 6000 円，学生 1000 円(要学生証)

問い合わせ：三重大学保健管理センター内 学会事務局 安川通子
〒514-8507 津市栗真町屋町 1577

☎ 080-3622-8911

FAX 059-231-9049

✉ mental-3@hac.mie-u.ac.jp

URL pmh.jp

埼玉県立大学研究開発 センターシンポジウム 2018

テーマ：地域包括ケアの深化に向けて

日時：10 月 6 日(土)

会場：埼玉県立大学講堂(埼玉県越谷市)

プログラム：基調講演「地域包括ケアのこれまでとこれから」田中滋(埼玉県立大学理事長)／シンポジウム「地域包括ケアの深化に向けて」迫井正深(厚生労働省保健局医療課長)，川越雅弘(埼玉県立大学大学院教授)，野崎伸一(厚生労働省政策統括官総合政策担当)，斉藤正身(真正会理事長)／パネルディスカッション

定員：400 名

申し込み方法：下記 URL 申し込みフォーム，Mail，FAX にて

問い合わせ：埼玉県立大学研究開発センター(担当：小助川，海老原)

FAX 048-973-4383

✉ Research_c@spu.ac.jp

URL www.spu.ac.jp/about/facilities/tabid650.html

2018 年度熊本大学 公開講座インストラクショナル デザイン

入門編

学習目標：インストラクショナルデザイン(ID)の基礎用語 10 個がどのような場面でどのように活用できるかを例示できる(知的技能)／ARCS モデルの視点から，教育事例の課題点を指摘し，適切な改善方法を選ぶことができる(知的技能)

日時・会場：

10 月 14 日(日)・東京工業大学キャンパス(東京都港区)

10 月 20 日(土)・熊本大学黒髪北キャンパスくすの木会館(熊本市中央区)

10 月 21 日(日)・天神チクモクビル(福岡市中央区)

11 月 4 日(日)・JEC 日本研修センター江坂(大阪府吹田市)

11 月 10 日(土)・ウインクあいち(名古屋市中村区)

応用編

学習目標：ID の基礎用語 10 個のうち 1 つ以上を応用して，自分の教育事例の改善案を提示できる(知的

技能)

日時・会場：

2019年1月12日(土)・関西大学
梅田キャンパス(大阪市北区)

1月13日(日)・天神チクモビル
(福岡市中央区)

1月27日(日)・東京工業大学キャンパス(東京都港区)

【以下、共通】

定員：40名

参加費：7500円

申し込み方法：下記URL申し込み
フォームから

問い合わせ：熊本大学インストラク
ショナルデザイン公開講座

 [www.cps.kumamoto-u.ac.jp/
syogaigakushu/koukai/id/](http://www.cps.kumamoto-u.ac.jp/syogaigakushu/koukai/id/)

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講習会などのお知らせがありましたら、本誌編集室までお送りください。

〒113-8719

東京都文京区本郷 1-28-23

 03-5804-0485

 hokenshi@igaku-shoin.co.jp